



「せんせい、つれたよ〜！」

18P

広報モニター
新たな4人決まる

6P

町政を問う
地元負担率の軽減を

4P

6月会議
町有地売却 誘致進む

2P

意見交換会
「声を想いを」聴かせて



新企画

みなさんの

「声を想いを」

聴かせて



議会広聴・広報委員会で長く続いたコロナ禍により、思うような広聴活動ができませんでした。このような状況を受け、議会報告会の開催方法を見直し、今回より町内で活動する団体などと意見交換会を定期的に開催することにしました。広くご意見ご要望などを聞きながら、よりよいまちづくりを反映させていこうと思います。

今回は、川崎町ソフトボール協会の皆さまから意見を伺いました。

- ### 町や議会に望むこと
- ・これから町を担っていく若者にもスポットを当てしてほしい。
 - ・若い人にスムーズな代替わりができる仕組みづくりをしてほしい。
 - ・議員数を減らし報酬を増やすことで、若い世代の議員が増えると思う。



佐藤 和茂さん (立野)

- ### スポーツ推進
- ・スポーツの種類に関係なく、ほかの団体とのつながりが必要だと感じる。
 - ・スポーツの種別に関係なく、ほかの団体とのつながりが必要だと感じる。
 - ・もっと働く場所がほしい。働き手も少なく感じる。
 - ・若者が地元に残りたいと思える取り組みも必要。
 - ・町が消滅してしまうのではないかと不安になる。
 - ・魅力を発信する情報が少なすぎる。
 - ・スポーツの大会などで町内の飲食店等のPRをしてほしい。



大山 和彦さん (川内三)



石垣 直也さん (川内三)

川崎町ソフトボール協会

川崎町体育協会に所属し、現在は6チーム84人が登録。春と秋に大会を開催するなど、町内外から集まり試合をとおして交流を図っています。



川崎町ソフトボール協会の皆さま、ご協力ありがとうございました。
今回いただいた貴重なご意見・ご要望は、町政へ反映できるよう尽力いたします。

6月会議

町有地を売却 工場誘致

会議は、6月11日から14日に開きました。提案された議案は、財産処分案1件、規約変更案1件、条例改正案2件、補正予算案2件、人事案1件を慎重に審議し、原案とおり可決しました。ここではその一部を紹介いたします。



▲土壌改良材を作る工場予定地

■提案理由
国道286号沿いの町有地の企業誘致にあたり、事業者と土地売買の仮契約を締結したため、議決を求めるものです。

■土地
支倉字滝ノ原16番
原野4万4066㎡

■売却方法
随意契約

■売却価格
1500万円

■契約相手方
仙台市青葉区国分町
EARTH CREATE
(アースクリエイト)株式会社
代表取締役 安本敬一

質疑

問 環境には問題ないか

佐藤新一郎議員

答 町周辺住民へ農業用水や水道水の安全性などは説明しましたか。

問 進め方は適切か

佐藤昭光議員

答 仮契約のうえ議案を提出することは問題ないと考えています。

問 質

佐々木昭雄議員

問 町の土地は町民の貴重な財産。公募または入札等はなぜ実施しなかったのですか。

答 10年で2件の問い合わせがあったなかでの仮契約となつていまして、公募の形が取れるのであれば検討できると考えています。

売却が突然では

問 町の土地は町民の貴重な財産。公募または入札等はなぜ実施しなかったのですか。

答 10年で2件の問い合わせがあったなかでの仮契約となつていまして、公募の形が取れるのであれば検討できると考えています。

町の玄関先に

問 町の玄関先に土壌改良材を作る工場ではイメージを損ないます。また、冬期間は危険な場所です。右折レーンの設置が必要では。

答 建物の配置、配色など、景観に配慮するよう事業者に求めています。右折レーンについては、関係機関へ働きかけます。

外国人も対象か

問 国籍のない外国人でも請求できますか。

答 請求は可能です。



情報公開条例 ついに改正

■提案理由
県内35市町村のうち当町と村田町、柴田町が請求権を町民や町の利害者のみと定めており、「何人も請求できる」者と改め、開かれた制度に対応していくため改正するものです。

一般会計補正予算 9114万円

主な事業

定額減税調整給付金 6500万円

■補正内容
個人住民税、所得税において定額減税を満額受けられない方に対する給付金事業を実施するため補正するものです。

木橋改修へ 527万円

■補正内容
本砂金地区の木橋を改修するため、測量設計業務委託費を補正するものです。



▲木橋からコンクリート橋に

宮城県後期高齢者医療広域連合 規約の変更

■提案理由
令和6年12月2日に被保険者証が発行されることになるに伴い、規約を変更するものです。

◆反対討論

高橋義則議員
すべての被保険者が安心して受診できる環境は整っておらず、マイナンバーカードへの強制的な一本化の中止を求め、反対します。

◆賛成討論

眞幡善次議員
マイナンバーカード未取得者への国による対応もしている観点から、賛成します。

◆反対 1
◆賛成 10



人事案件

固定資産評価審査委員会委員(再任)



まかべ としのぶ 眞壁 敏信 さん
(碓石)

令和6年7月1日から
令和9年6月30日までの
3年間

選挙管理委員会委員・補充員

指名推薦による選挙で次の方が当選人となりました。
任期は令和6年7月22日から令和10年7月21日までの4年間です。

区分	氏名	行政区
委員	最上 稔	野上
委員	鈴木 恒夫	裏丁下
委員	森 潮光	川内一
委員	高橋 富士男	支倉下

●補充員

区分	氏名	行政区
順位1番	大宮 一男	本荒町
順位2番	今野 美智子	本砂金
順位3番	菅野 広幸	支倉台
順位4番	佐藤 仁	前川東部

委員に欠員が生じた場合、補充員が順位1番から順に繰り上げられます。

町政を問う

7人の議員が質問

一般質問は、町政全般の執行状況を質し、施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。



- ◆ 下斗米 麻子 議員 7
 - (1) 町立図書館の必要性
 - (2) 孤独・孤立に悩む方々に
- ◆ 佐藤 昭光 議員 8
 - (1) 川内北川原山への企業誘致
- ◆ 佐々木 昭雄 議員 9
 - (1) 人口減対策
 - (2) 企業誘致に関して
 - (3) メガソーラー施設の防災対策
- ◆ 佐藤 清隆 議員 10
 - (1) 女性管理職の登用について
- ◆ 今田 勝春 議員 11
 - (1) 用水路の整備等について
- ◆ 高橋 義則 議員 12
 - (1) 農地の地域計画策定
 - (2) 自衛隊への個人情報提供
- ◆ 的場 要 議員 13
 - (1) 小学校スキー教室について
 - (2) ヒアリングフレイルについて

問 町立図書館の設立を

答 早急に方向性を示す

公民館の図書室は老朽化しており、蔵書も不十分だという声があります。多くの町民は町外の図書館を利用して現在の現状です。小中学生の学習場所としても活用されていますが、適切な学習環境とはいえません。

問「図書館づくりはまちづくり」ともいわれ、最近では文化と人的交流、心の癒しの場としても必要性が認められています。図書館の建設は、多くの町民の要望でもあります。

答町長 川崎小学校の改築に併せて、公民館を含めた公共施設の在り方を検討しなければならぬと考えています。また、当面の対策として、図書室の広報充実や県立図書館との協力貸し出しなどで利用向上に努めます。

問町民を交えた準備委員会の立ち上げや、早い段階で司書を採用する考えは。

答町長 財政に合った規模を考え、既存の建物の利用を視野に検討を始めた。準備委員会や司書はまだ早いと考えていますが、早急に方向性を示したいと思えます。



下斗米 麻子 議員

質問・答弁の動画は
←こちらから



▲町内からの利用者も多い蔵王町立図書館

問 孤立する方の見守りを

答 支援体制を強化する



▲こんにちは。おかわりありませんか？

4月に孤独・孤立対策推進法が施行されました。「孤独・孤立に悩む人を誰一人取り残さない社会」「相互に支えあい、人と人とのつながりが生まれる社会」を目指し、町もその対策が求められています。

問 県老人クラブ連合会からモデル指定を受けた立野地区の「友愛活動」などは、他地域に誇れる取り組みだと思えます。この活動を参考に町独自の体制整備はできませんか？

答町長 これまで地域包括支援センターを中心に、見守りネットワーク事業を実施してきました。この事業により、ある程度体制が整備されていると思います。今後関係機関と連携し、支援体制を強化していきます。



さとう しょうた 議員 佐藤 昭太



質問・答弁の動画は
←こちらから

問 企業誘致に残った課題は

答 県と連携 データ生かす

北川原山地区への誘致に企業が「ノー」との回答でした。しかし、町では地下水調査の要請を受けて1000万円弱を投入しており、今後に教訓を生かさなければならぬと思います。

問 水質調査では「問題ない」と議会で説明していたのに、なぜ水質で候補から外されたのですか。

答 町長 ポーリングした会社は「一般的な水質であり食品製造も使用可能」との回答でした。しかし、今回の企業は乳製品を取り扱うという点もあり、基準を超えていた「ヒ素」には敏感であったと感じています。

■水質検査で基準を超えたもの

- ・一般細菌
- ・ヒ素及びその化合物
- ・マンガン及びその化合物
- ・臭気

問 以前にもこの土地は、水を大量に使う企業の誘致から外れた経緯があります。二の舞にならないよう手を尽くしたと思いますが、経験を生かさなければならなかったのでは。

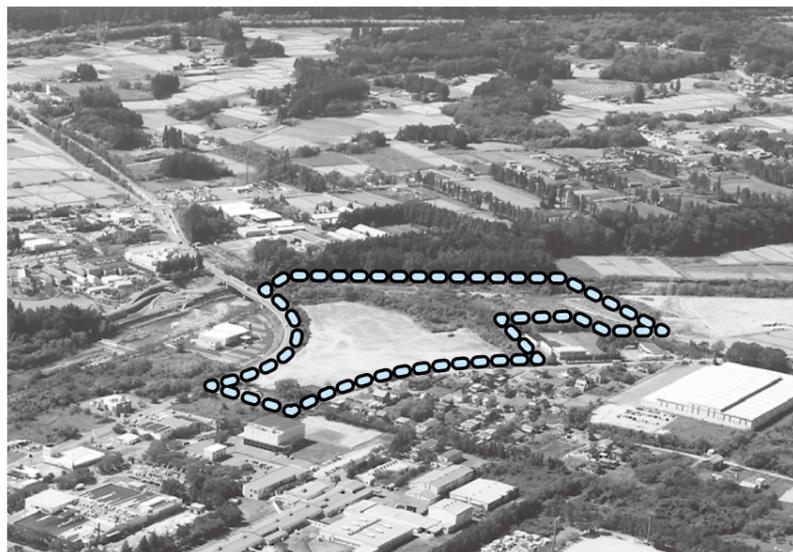
答 町長 このときは十分な水量が確保できないことが原因でした。企業進出のニーズに応じて、上下水道など施設整備の必要性を判断していきます。

問 今回の経験はこのままでは済ませられません。「水」に関して慎重な対応を求められる町として、今後どのように生かしていきますか。

答 町長 情報が集約されている県の担当課とのつながりを大切にし、雇用の受け皿が増えるよう努力していきます。

問 ダムの上流の町として、産業育成策、企業誘致の位置づけを伺います。

答 町長 水質検査はやはり必要なことでした。結果を資料として使い、しっかりと皆さんの意見を聞きながら進めていきたいと思っています。



▲期待は大きかったが…

問

企業誘致今後は

答

慎重に進めていく

北川原山地区の企業誘致に関して「水質検査の結果から工場進出の断念の連絡があった」と町長から報告がありました。非常に残念に思います。

問 これまで町長は先方と何回面談をしましたが。また、企業進出の用地と当町用地の比較はされましたか。

答 町長 企業とは3回お会いしました。計画は水面下で進められていたため、訪問を控えなければいけない申し合わせがありました。県から福島県の関連企業の敷地内に決定したと聞いていますが、土地比較はしていません。

問 企業誘致を行う際には、さまざまな方法でつながりを探して紹介いただくことも必要です。取引先などを含めた相手企業の情報を分析し、一つのアプローチ方法として検討すべきでは。

答 地域振興課長 町の立地条件などの情報発信に努め、また、つながりがあるかを探りながら、よりよい企業誘致の在り方を検討していきます。

問 ソーラー発電の防災対策

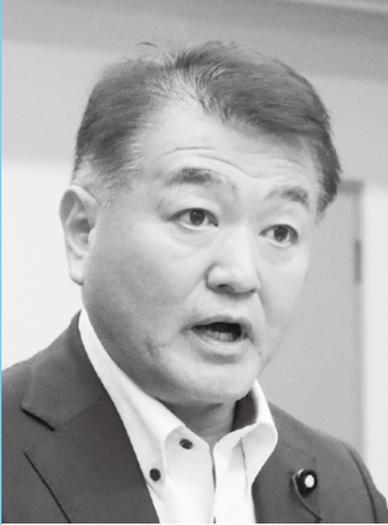
答 巡回や点検を実施

問 当町におけるソーラー発電施設が計画稼働をしています。土砂崩れなどの防災や防火対策にも設置企業との対策を十分講じているのか伺います。

答 町長 条例により発電施設を設置する事業者は計画書の提出が必要です。計画書には事業者が施設の巡回や点検を実施するなど、維持管理や災害等の対応について明記しています。

問 六方地区は住宅のすぐ近くまでソーラー発電施設が作られる計画です。住宅地や幹線道路から最低100mは離すなど、町独自の条例が必要だと考えますが。

答 地域振興課長 町から事業者へは、地域に丁寧の説明と理解を得るよう指導を行っています。町の条例や規則で法令よりも厳しい制限をかけることは、法的にも検討が必要になります。



ささき たかひろ 議員 佐々木 尊雄



質問・答弁の動画は
←こちらから



▲待望される工場適地

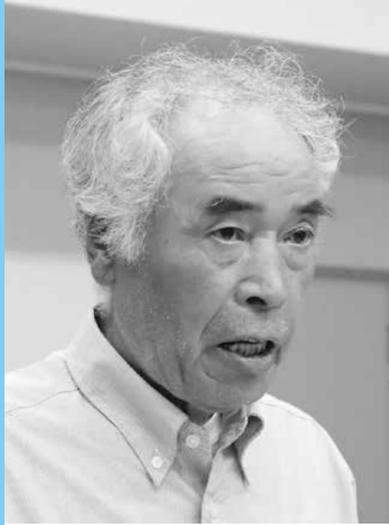
その他の質問事項

問 人口減少への対策は

答 町の良さをアピールする



▲土砂崩れが懸念される施設



いまだ かつはる 議員
今田 勝春



質問・答弁の動画は
←こちらから



▲老朽化が進む用水路

問 町では道路、上下水道、消火栓や防火水槽、防犯灯など、さまざまな施設の維持管理をしています。今回は町が管理していない用水路について伺います。

答 各地区には用水路が整備されており、水利組合が維持管理をしています。しかし、高齢化が進んでいて、管理が困難な状況です。改修等の場合は地元負担が10%なので、負担率を下げる事ができないか伺います。

問 各地区には用水路が整備されており、水利組合が維持管理をしています。しかし、高齢化が進んでいて、管理が困難な状況です。改修等の場合は地元負担が10%なので、負担率を下げる事ができないか伺います。



▲令和7年度更新予定の水門

問 用水路はさまざまな役割を果たしています。火災が発生した場合にも欠かせないものです。減反政策による作付け面積の減少で自治会からの脱会もあり、水利組合費も減少している状況です。

答 町長 減反政策で組合費の減少、自治会からの脱会、いろいろな状況を聞いています。用水路の整備はかねてからの懸案です。最前線で悩まれている方々の意見を真摯に受け止めて、検討していきます。

答

真摯に受け止め検討

問

地元負担率の軽減を

問

女性管理職を

答

現在は0人、過去に3人登用

昨今の男女共同参画の流れや、女性活躍推進法などからも、積極的な女性管理職登用に取り組んでいる民間・自治体も多くあります。女性の視点や感性を活かした組織運営をしていかなければならないと思います。

問 町長 意欲や能力などを総合的に判断し、管理職の登用を考えています。可能な限り男女均等に機会を与えられるよう配慮しています。採用から人材育成、働き方の充実など長い取り組みが必要と認識しています。

問 他自治体と比較した場合の、登用実績の比率は。
答 町長 県内の市町村の管理職割合は一般行政職で18・7%、仙南2市7町では21・4%となっています。当町の管理職の人数に換算すると2、3人ほど少ない状況です。

■一般行政職での管理職の状況 (R5)

	総数	うち女性	女性の割合
川崎町	12	0	0.0%
白石市	42	8	19.0%
角田市	30	8	26.7%
蔵王町	19	4	21.1%
七ヶ宿町	14	3	21.4%
大河原町	20	6	30.0%
村田町	23	2	8.7%
柴田町	31	9	29.0%
丸森町	24	6	25.0%
仙南 平均			21.4%
県 平均			18.7%

問 女性管理職の登用には、男女の区別なく人材育成を図ることが必要です。採用から配置、育成、昇任、長いプロセスでの取り組みが求められます。どんなことを重点に考え女性職員を採用していますか。
答 町長 女性や男性という前に、まずは受験していただかなくてはなりません。会計年度職員からの登用や受験年齢を40歳に引き上げるなど、受験者の確保に努めています。

問 組織としての人材登用、配置の目的は、組織力を高め組織を強くすることだと思っています。これまでどんな人材登用、配置を行ってきましたか。
答 町長 コミュニケーション能力や主体性などを中心に、努力していく姿勢を一緒に続けていくことが基本にあります。それに相まって努力していく、いける人材が欲しいと思っています。



さとう きよたか 議員
佐藤 清隆



質問・答弁の動画は
←こちらから



▲長い取り組みで育成・登用を

問 これまでに登用してきた実績はどれくらいですか。
答 町長 一般行政職では、過去に3人の職員を管理職として登用した実績があります。現在は退職しており、女性管理職は1人もいない状況です。

問 女性管理職の登用には、男女の区別なく人材育成を図ることが必要です。採用から配置、育成、昇任、長いプロセスでの取り組みが求められます。どんなことを重点に考え女性職員を採用していますか。
答 町長 女性や男性という前に、まずは受験していただかなくてはなりません。会計年度職員からの登用や受験年齢を40歳に引き上げるなど、受験者の確保に努めています。



たかはし よしのり 議員
高橋 義則



質問・答弁の動画は
←こちらから

農業で暮らせる計画に

支援制度をさらに充実

地域の農業をどのように維持発展していくか、地域計画※を基に、関係者が一体となって話し合っけて計画を策定しています。

※地域計画とは

農家の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など、それぞれの地域が抱える「人と農地の問題」について話し合い、持続可能な力強い農業を実現するための課題を解決していく「未来の設計図」。



▲状況を「見える化」

問 今後、少ない担い手が農地を守っていくためには何が必要だと考えていますか。

答 町長

地域で新たな農業法人を設立するなどの担い手を増やす対策などが必要で、ほかの地域から担い手を誘致することや、関係機関と協議しながら地域に合った対応策を検討したいと考えています。

問 若い人が農業をやりながら暮らせるように、地域計画を考えたかなければいけないと思います。収益を高めながら地域を盛り上げるべきだと考えますが。

答 町長

町として支援できる方向を模索していかなければいけません。町独自の支援制度などをさらに充実させていくなど、検討を続けていきます。

自衛隊への情報提供は

依頼があれば提供

問 自衛隊に18歳と22歳の男女の名簿を提供することが、他町村で問題視されています。当町では本人の同意なく、情報提供は行っていますか。

答 町長

自衛隊宮城地方協力本部より情報提供の依頼があれば提供を行っています。

問 住民基本台帳法では外部提供の定めはないが、今後の対応は。

答 町長

自衛隊法に基づき、自衛官候補生の募集に関する事務として、防衛大臣が市町村長に対し求めることができます。依頼があればこれからの情報を提供する考えです。



▲個人情報の提供は…

スキー教室の継続は

各学校の判断に任せる

問 残念ながらセンターメリースキー場は閉鎖となりましたが、滑りに行きたいというスキー教室の継続を望む声があるようです。これまでとは違った環境での対応になると考えますが、今後の方針は。

答 教育長

方針としては各学校の事情も異なることから、スキー教室の開催は各学校の判断に任せます。送迎バスの手配や体験活動の講師等に支払う経費等は、各学校と相談し、引き続き支援を行います。

問 冬場のスポーツの楽しさ、そしてつらさを経験することは、今後の人生において必ず財産になってくると思えますが。

答 教育長

子どもたちにはあらゆる機会を通じて地元のよさを感じてもらおう。また、体験活動で養える「心のたくましさ」を得られる機会を継続し、町を挙げて支援していきたいと考えています。



まともば かなめ 議員
的場 要



質問・答弁の動画は
←こちらから



▲楽しさ、つらさを学ぶ機会に

早期発見で予防を

周知と啓発に努める



▲耳の健康管理も必要

問 こ数年、全国の自治体でヒアリングフレイル※への取り組みが始まっています。高齢者の聴力の衰えについて学ぶことにより、早期発見で介護や認知症の予防につなげていく役割があると考えますが。

答 町長

予防という観点からも、まずは本人や家族、周囲の方々に正しい知識と見解を持っていただくことが重要です。老人クラブや高齢者サロンでのチラシの配布を行うなど、町民への周知と啓発に努めます。

※ヒアリングフレイル…耳の虚弱、聞き取り機能の衰えによるコミュニケーションの問題やQOL(生活の質)の低下などを含む身体の衰えの一つ。

総務民生常任委員会

調査日 5月29日

調査事項① 地域おこし協力隊の現状 継続的な体制づくりを

【調査結果概要】

当町では平成29年から「地域おこし協力隊」制度を導入し、移住定住・企業サポートセンター「SPRING」の運営に従事していま

す。また、「空き家バンク」等の移住定住支援を主な業務として毎年採用しています。令和6年4月1日現在、9名の協力隊が活動している状況です。

地域おこし協力隊は移住者という視点から、町の魅力を発掘し体験型のイベント等を企画・運営するなど、新たな賑わいづくりにも取り組んでいます。「SPRING」のほかに、森林組合や町指定管理施設に常駐する協力隊も令和4年度より採用しています。



▲年々採用が厳しい状況に

【委員会意見】

これまで累計18名の地域おこし協力隊を採用してきました。近年、全国的に地域おこし協力隊への取り組みが増加傾向にあり、募集定員に対し応募・採用が厳しい状況になっています。

3年間の任期後の定住率は83%と高く、地

域の担い手として活躍が期待されています。任期後も町の支援が必要になってきますので、継続的な体制づくりに取り組んでください。また、制度上の条件はあるものの、地域産業の振興に寄与する業種への委託についても検討してください。

調査事項② 町税等の収納状況 積極的な納付環境整備

【調査結果概要】

全体の徴収率は、平成30年に95・2%となったことを境に同水準の徴収率を維持しています。現年度は98%台、滞納分は20%台の徴収率となっています

が、滞納繰越額が増加傾向です。現年度課税分のさらなる納付の呼びかけ、滞納分への適切な対応を進め縮小に取り組んでいます。納付状況は、納税組合の解散が相次いでいることから、解散届が

あった組合に対し、口座振替申し込みの案内を行ってあります。また、年金からの天引き、窓口や金融機関での納付以外に、QRコード等を利用したキャッシュレス納付も含まれています。



▲利用しやすい環境を

【委員会意見】

今年度4月現在では目標に近い徴収率となっています。これは、新規滞納案件の発生抑制のため、少額滞納者も含め現年催告書を発送する取り組みの効果があつたものと考えます。引き続き、税の公平性のもと徴収対応に取り組んでください。

納税組合も減少しています。口座振替やコンビニ収納など、納付環境の整備も積極的に進めてください。今後、窓口での手数料徴収にキャッシュレス機器を導入予定とのことですが、税徴収についても検討してください。

産業建設教育常任委員会

調査日 5月30日

調査事項① 新規就農・農作物の現状 支援体制を強化

【調査結果概要】

平成24年度以降、新規就農者に対する国の支援策が実施され、これまで18人が支援を受けて農業を始めています。当町独自の新規就農者支援制度も整備さ

れており、新規就農者営農定着促進事業や農業担い手経営継承支援事業などが実施されています。水田利用状況は水田面積が1105畝、そのうち水稲作付面積が558畝を占め、転作

面積は547畝となっています。園芸振興作物では、本年度から新たにネギ、サツマイモ、ニンジンが指定され、生産者の掘り起こしと普及拡大に取り組んでいます。



▲地元農家と協力しながら

【委員会意見】

農業における担い手不足と高齢化が大きな課題となっています。新たな担い手として、より多くの人材を育成し定着させることが求められます。新規就農者が3年間の給付を終えても離農することのないよう、技術向上につながる研修などをと

おして、人材育成と営農体制の構築に努めてください。また、大規模生産を目指す農業者の育成を図ることも必要です。関係機関と連携を図りながら支援体制を強化し、農業生産者の確保を目指してください。

調査事項② 上水道施設の現状 持続可能な水道事業を

【調査結果概要】

町内には8カ所の浄水場のほか、配水池、ポンプ場、水道管等が整備されており、3245戸、7758人（令和6年3月末）に水道水が供給されて

います。平成23年度から実施してきた石綿セメント管更新事業は令和3年度に完了しました。現在は、令和4年度に改定した「川崎町水道事業経営戦略概要」に基づき、整備後40年以上

が経過した老朽管の更新事業を行っています。また、宮城県が検討会を設置し、広域連携・共同化に向けた検討が行われています。



▲計画的な維持管理を

【委員会意見】

多くの上水道施設で老朽化が進行しており、維持管理や更新に伴う経費は年々増加していくことが予測されます。「安心で安全な水道」を安定的に供給するためにも、今後の経営戦略を明らかにすることが必要です。計画的に施設の長寿命化

を行ってください。また、今後の人口減少による使用料収入の減少や、職員の減少に伴う執行体制の脆弱化も予想されます。持続可能な水道事業となるよう、広域連携・共同化に向けた調査・研究を推進してください。

5月会議

会議は、5月22日に開きました。提案された議案は、財産取得案1件、条例改正案1件、補正予算案1件を慎重に審議し、原案どおり可決しました。ここではその一部を紹介します。

一般会計補正

低所得世帯へ補助

■補正内容

物価高騰支援として低所得世帯への給付金等を計上するものです。

3050万円

顕彰会実施へ

■補正内容

古賀政男顕彰会を実施する事業費を計上するものです。

144万円

財産取得

除雪トラックを購入

■提案理由

冬期間に除雪作業等に使用する除雪トラックの仮物品売買契約を締結したため、議会の議決を求めるものです。



▲老朽化により更新

■取得物件

除雪トラック3台

■取得数量

1台

■取得方法

1者見積徴収による随意契約

■取得金額

1512万5000円

■契約の相手方

仙台市青葉区上杉二丁目5番15号
英和株式会社 産業機械営業部 北日本産機グループ エリアマネージャー 上杉武次

7月会議

会議は、7月12日に開きました。提案された議案は、補正予算案2件を慎重に審議し、原案どおり可決しました。

一般会計補正

夏まつり地域イベントに助成

■補正内容

地域の夏まつり、盆踊り、花火大会等を対象とする助成費用を計上するものです。

①行政区単位イベント

補助上限10万円×7

②広域的イベント

補助上限50万円×1

病院事業会計補正

ボイラー更新

■補正内容

温水ボイラーの給排水ポンプ・配管の工事費用を計上するものです。

350万円



▲地域の夏祭りなどを後押し



▲修繕しながら維持管理

学びを活動に生かす!

5月9日、宮城県自治会館(仙台市)で新議員研修会が行われました。当議会からは3人が参加し、議会と議員の基礎知識について研修を受けました。研修報告書から一部を紹介しします。



▲議員の基本は調査活動

使命感持ち貢献を

大本治久議員

「議員としての心構え」と「制度説明」の研修でした。国民の意識や価値観が大きく変化するなか、生活の質の向上や多様性に富んだ生活の実現を目指した地方分権の改革が待たれています。

その推進の要として、地方議会議員の職責の大切さを学ぶことができました。今回学んだことを糧として、議員としての心構えを忘れず、使命感を持ち「よいまちづくり」に貢献したいと思います。

情報収集が大切

佐々木昭雄議員

議会運営アドバイザーより講演をいただき、選挙運動と日ごろの政治活動の違いについて理解を深めることができました。議員活動のなかでは調査活動が基本であり、任意によるものと公務によるもの、どちらも地域住民の皆さんとの連携を基にした情報収集が大切だということです。連携をしっかり取って町政への監視力や政策提言力の向上につなげたいと感じました。



▲新たな学びに興味津々

地域とのつながりを

下斗米麻子議員

議会議員の基礎知識についての講演がありました。議会の役割と機能、そしてその責任の部分では改めて議員として必要な資質について学ぶことができました。また、議員としての活動の基本となる

のが「調査活動」であり、住民の皆さんとのつながりを普段から意識し大切にしていかなければならないと痛感しました。



あなたのご意見 お聞かせください



意見交換会 参加団体募集中!

議会広聴・広報委員会では、定期的に意見交換会を開催することとしました。意見交換会に参加いただく団体を募集しています。

川崎の現状、そして未来について、広くご意見ご要望などをお聞かせください。

魅力発信

人口減少



▲令和6年7月の意見交換会

少子化

学校統合



▲令和5年9月意見の交換会

詳しくは議会事務局まで
TEL (0224)84-2301

報告

全議員で給食を試食

7月5日に川崎中学校で完全給食移行後、初めて議会全員で学校給食を試食しました。昨年度から給食費無償化になりましたが、物価高騰による質の問題など、調理の現場ではさまざまな工夫がなされた献立が提供されていました。



▲川崎産米の美味しいごはん



学校給食共同調理場のInstagram
給食情報を更新しているよ!
@MIYAKAWAKYU

編集協力 頼りになるメンバー

広報モニター4名と一緒に

前号で議会広聴・広報委員会より広報モニターの募集を行い4人の方に決まり、7月8日に眞壁範幸議長より委嘱状が交付されました。

ここでは新たに広報モニターとして協力いただくメンバーを紹介します。



佐々木 和人さん
(川内二)

コロナ禍でマスクをした人が多くなりましたが、最近はマスクも外れ笑顔が戻ってきたとレンズ越しに感じます。子どもたちの笑顔を届ける写真を撮っていきます。



藤原 義信さん
(川内二)

PTA活動の経験を生かし、広報紙づくりに参加して10年が経ちました。子どもたちの成長とともに、これからも笑顔あふれる写真を提供していきます。



佐藤 達也さん
(裏丁上)

コンクール全国1位を目指し、手に取って読んでもらえる広報紙となるよう、メリハリの紙面づくりを目標に協力していきます。



高木 喜一さん
(青根)

仙台までバイクで通勤する傍ら、町内の自然豊かな風景をカメラに収めています。町内でも知らない場所もたくさんありますので、この機会に撮影していきたいです。

お知らせ

掲載写真を募集します

議会を傍聴して みませんか

議員は、議場でどんな発言をしているか。また、どんなまちづくりを考えているか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひお越しください。

※次回の会議は9月10日(火)～20日(金)
一般質問は9月11日(水)・12日(木)
午前10時、再開の予定です。

議会ライブ中継 配信中

(傍聴者は6月会議 8人、ライブ中継は
157 アクセスでした。)

本紙の「町の風景」(裏表紙)に掲載する写真を町民の方より募集します。写真をご提供いただける方は、議会事務局までご連絡をお願いします。



※ご提供いただいた写真が必ず掲載となるものではありません。ご理解のうえでご提供願います。
※写真のタイトルは議会広聴・広報委員会で決定いたします。

詳しくは議会事務局まで **TEL (0224) 84-2301**

町の風景

あかとしろ「真^まっ青^{さお}なそら」



撮影場所：川崎小学校運動会にて

撮影：広報モニター 藤原 義信さん

表紙の説明「せんせい、つれたよ～！」

かわさきこども園まつりにて
撮影 議会広聴・広報委員会

議会映像配信

議会の様子が
ご覧いただけます。



発行：川崎町議会
編集：議会広聴・広報委員会

〒989-1592
宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175番地1
TEL(0224)84-2301・FAX 84-6789
E-mail: kawasaki2@town.kawasaki.miyagi.jp

印刷：株式会社ユーメディア